

ふれあい

No.10

編集発行 上越市立春日小学校

○ あたたかな3学期のスタート

3学期が始まった1月10日からの週は、気温が上がり過ごしやすい日が続きました。グラウンドが乾き、休み時間に外遊びができるのは、この時季としては極めて珍しい光景です。防寒着を着ることもなく、腕まくりをして動き回っている子どもたちもいました。

雪が少ないことは、通学・通勤にはありがたいことですが、「雪遊びもさせてあげたいな」という気持ちも出てきます。今後、雲のかかり方次第では、先月の中下越地域のような大雪になるかもしれません。「備えあれば憂いなし」の気持ちを忘れずにいたいと思います。

○ フリー参観ありがとうございました！

17日には、フリー参観を実施することができました。感染状況が落ち着いているのは、各家庭での健康管理が徹底されていることが大きいと思います。このまま、今後の教育活動を進めていきたいところです。

メディアコントロールや思春期講座など外部講師を招いた学習、同和学習等々、子どもたちの様子をご覧いただくことができました。お気付きの点について、アンケート用紙や連絡帳等でお寄せいただいた皆様、ありがとうございました。個人的なことで恐縮ですが、4年生にご指導いただいた滝澤ミチ子先生と久しぶりにお会いでき、今も変わらぬ子どもたちへの愛情あふれる姿に大変感動いたしました。

○あなたの今年の目標は・・・？！

各教室には、子どもたちの3学期のめあてが掲示されています。学期末、年度末には達成感を感じられるように1日1日を大切にしていってほしいです。さて、お子さんが、どんなめあてを立てたかご存じでしょうか？是非、話題にしてみてください。また、大人も自分の目標をしっかりとって過ごしていきたいですね。

学校としても、学校評価アンケート等々を活用して、しっかりと現状分析をして、今後の方策を検討しているところです。日頃から様々な視点で、保護者地域の皆様から貴重なご意見を寄せていただいていることに感謝申し上げます。2023年もよろしくお願いいたします。

癸（みずのと）卯（う）年は、「これまでの努力が花開き、実り始めること」という意味があり、「飛躍」の年と言われています。大事なのは「これまでの努力」だと考えます。継続的な努力、積み重ねなくして成長や飛躍はありませんね。

このおたよりをお読みいただくのは、1月下旬です。新年に立てた目標、それに向けての取組がうまく進んでいるでしょうか？振り返るのにはちょうど良いタイミングですね。



【校長 星野 浩一】



2年生あおぞら学年



秋冬野菜を育てよう!

9月から地域の畑の先生に教えてもらいながら、秋冬野菜作りに取り組みました。2学期は収穫した野菜を自分たちで調理して食べるところまで学習しました。サツマイモは蒸かして、大根はおでんにしました。初めての調理実習でしたが、楽しんで調理して、おいしく味わうことができました。



苗植え・種まき



観察

自分たちで調理した野菜の味は格別でした。



収穫



調理

5年生きずな学年

きもちを伝え合い

ずっと高め合う仲間でいよう

なんどでもチャレンジ

昨年の9月に収穫したきずな米。収穫したお米をどうするか、子ども達と話し合う中で、「販売をしてきずな米のよさを多くの人に知ってもらいたい」という声が多くあがりました。各学級、自分たちで販売場所を決め、きずな米のよさを知ってもらうために何が出来るかを考えながら、準備を進めました。



きずな米の販売は直江津の朝市、あるるん畑、市民プラザの3か所で行いました。当日は事前に決めた役割分担で、準備をした手作りのチラシを配布したり、お客さんに声をかけたりしながら、一生懸命きずな米のよさをアピールしました。多くの地域の方に来ていただき、用意してあったきずな米は、全て売り切ることができました。

